

# 広報 おくに

No. 129  
80 1/1



## 《伝統芸能・法木神楽》

この神楽は明治初年頃、桶屋の千太郎というおじいさんが、一の沢(小千谷市真人)から習ってきて、悪魔払いや、娯楽として始めたものです。昔はよく招かれて町内外の部

落を興ってあいたそうです。昭和にはいつから舞う人もなく、忘れられていたものを、昭和51年に保存会ができて50年ぶりに復活、現在は部落ぐるみで意欲的にとりくまれています。

町の人口 12月15日現在 ( ) 前月比  
12/31 男 4,616人 (-6) 女 4,806人 (-6) 計 9,422人 (-12) 世帯数 2,275 (-2)  
発行 小国町役場 (登録小国(025895)3111(代)) 編集 総務課庶務係

# 謹んで新春のお慶び

明けましておめでとう  
ございます



小国町長 牧野功平

明けましておめでとうございます。  
輝かしい新春を迎えまして、町民の皆様と一緒に心から祝福申し上げますとともに、日頃町づくりにあたたかいご理解やご協力を賜わりまして厚く御礼を申し上げます。

年頭に当りまして厳しかった1年をそして激しく揺れ動いた70年代を静かに振り返り、迎えた1980年代に思いをいたすとき、待ち望んだ景気がやっと回復基調にあっても、石油問題・円安傾向、更にはインフレ対策等、多くの不安定要因や制約が厳しさを増しつつあって、容易ならざるものが感じられます。

国は本年を財政再建スタートの年として位置づけており、公共投資等支出面の抑制を打出しておりますので、地方も多くの仕事をかかえながら財布の紐をしめる出発の年となりそうです。

わが町では健全財政を基調に、長期構想で求めた将来像をめざして、地道に町づくりを進めておりますが、お陰様で6・26水害の復旧工事も昨年で峠を越し、森林公園も皆様のご期待を担って完成いたしました。

本年は定住をより促進し町に活気を呼ぶため、新規3ヵ年事業を導入して、産業振興と就業の場づくりにテコ入れをし、電源三法事業では若い諸君の強い要請であったグランドの照明施設と町民プールの建設を、農村整備モデル事業や過疎対策事業では生活環境整備の推進を図ってゆきたいと存じます。又、私達の夢でもあった基幹道路の国道昇格につきましては、長岡・長野間を計画し両県の知事さんを先頭に強力な運動を展開いたしております。更には昨年来計画を進めて参りました、ミニコロニーの施設が広域的な見地から柏崎市に変更となり、代りに救護施設を本年度建

設する見通しが明るくなりました。皆様の格別なるご理解とご協力をいただき、小国のよさを生かしながら、恵まれない人々のために立派な施設に育てあげたいと存じます。

都市化がすすみ、新しい地域の課題が発生しているもののなかに住宅問題があります。現在意識調査等を中心に公営住宅制度によるアパートの建設を慎重に検討致しております。

次に地域のシンボルとして、長く尊い歴史と多くの子弟を世に送り出して参りました由緒ある学びの舎、八王子小学校と山野田分校が児童数の減少による教育効果の問題等から地元の要請によりまして、12月議会で廃校が決まり、静かに幕を閉じることになりました。

本年は町づくりのための色々な計画を策定する年でもございます。過疎振興計画・土地利用計画・長期構想の基本計画・広域圏整備計画・信濃川流域下水道計画等5～10ヵ年の計画になりますが、皆様とご相談しながら充分検討を重ねて、長期構想実現のため施策を織込んで、今後の町づくりに処したいと存じます。

厳しさのみが浮彫にされるこの頃でございます。しかしながら私達ももてる英知とエネルギーを結集して、それぞれの役割りと責任を果しながら町づくりや家庭づくりに努力することによって必ずや新しい幸せと飛躍が訪れるものと信じます。

誠実溢れる里人のふれあい、そしてさわやかさがふっと通りすぎるような活力のある明るい町。こんな町づくりに本年も力一ぱいの努力をして参りたいと存じます。町民各位の一層のご指導とあたたかいご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の限りない御多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

# 申し上げます



## 新しい年を迎えて

小国町議会議長 片岡 賢

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

新春のお喜びを心から申し上げると共に、日頃お寄せいただきますご厚誼に深く感謝申し上げます次第であります。

厳しかった昨年を振り返ってみますと、我が国の政治経済は、政府の景気浮揚政策にもかかわらず、経済情勢は長引く不況に円高の追い打ちをかけ、倒産・雇用不安が深刻な社会問題となる一方、相変わらず物価高と公共料金の値上げにのしかかってきました。

更に、3・31暴風被害に襲われ、農家の皆様には2年続きの大変な年でございました。

1980年を迎え、今年こそは良い年でありますよう期待しております。

これらの問題解決には、今後政府の諸施策に期待することは当然であります。今年度の国及び地方の財政は益々厳しさを増していく現況の中で、地方の時代といわれるこれらの効果が、どのように現われるかが地方自治体の行財政にとって大きな課題となるものであります。

私共議会人が多年にわたり努力して参りま

した精薄者の救護施設も、建設着手を目標に努力いたしたいと存じます。

老人福祉施設の向上、また、常備消防分遣庁舎も建設されまして、消防・防災救急業務態勢が充実されたこともご承知のとおりであります。

また、本年は農家最大の関心事となっている新生産調整についても対処、継続事業であります農村総合整備モデル事業、農村地域定住促進事業などの実施によりまして、生活環境の整備を行い、小国町の将来にかかる諸問題に我々議会人も一層住民サイドに立って、住みよい平和な小国町の建設のために町民の皆様とともに努力を傾ける決意でございます。

町財政も極めて厳しい事態が考えられますが、諸問題に対して議決機関の使命は重大であると痛感するものであります。

私共議会人も一生懸命頑張る所存でございます。町民各位のご指導とご協力をお願いします。皆様方の益々のお幸せとご健康をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



# ことしの抱負

昭和55年の新しい年が明けました。1980年代の最初のステップ——新しい時代に向けての船出です。そこで新年に当り、今年の年男・年女のみなさんの抱負を語ってもらいました。



いよいよ 中学生

内山 達也 (八王子小・6年)  
6年間の小学校生活を終り、4月からいよいよ中学生になる。たくさん友達といっしょに勉強したり、遊んだりできる。ほかの学校は人数が少ないので、野球をやるとしても1チーム3人くらいで満足にできない。4月からはたくさん友達といっしょに思う存分運動も出来ると思うと今から楽しみです。  
中学生になれば、楽しいこともあるけど、今よりずっと苦しい事もあると思う。「どんな苦しいことがあっても、くじけずがんばろう」と進学を前にして思っている。



さあ 進学だ

中村 雅人 (八王子小・6年)  
4月から中学生です。義務教育最後の仕上げをする学校へ進学するのです。  
「八王子小の6年生は3人だけだ、中学校ではたくさん友達と一緒に、英語やその他の勉強をするのだ」と思うと、今から心がひきしまります。  
みんなと協力して、いっしょけんめいやりようと思えます。  
今は、6年生までの勉強をしっかりとやっておき、よい成績をとれるようにがんばりたいです。



新年を おかえて 思うこと

中村 ユキ子 (八王子小・6年)  
もうじき、小学校をそつぎようします。とてもうれしいけど、これまでよりもっとがんばらなければいけないとおもいます。  
家の人からも、べんきょうしないとおいていかれるぞ、といわれます。  
まは、中学校をそつぎようしたら、りょうりをならいたいとおもっていたけど、いまは、家のついでをやることにしています。  
牛の子どもたちに、ちちをやったのしくらしたいくらです。



今日を 大切に 生きよう

内山 雅世 (八王子小・5年)  
「新しい年がやって来る。最上級学年になる年だ。」そう思うと気持ちがひきしまる感じがする。  
去年、よく実行できなかったことは、ろう下(階段)を走ったこと、給食を残したことでした。この二つは、今年こそしっかり実行して、最上級生らしい態度と、健康な体を作つてすごしたいと思っています。  
中里小と合へる年です。よくわからない学校へ行くことはイヤだけど、だれにも負けないようにがんばりたいと思っています。

わたしたちはさるとしです。



ワイドに 生きよう

高橋 博文 (横 沢)  
初代総理・ヒロフミの名をもらい今年で年男です。家は生まれながらにして新築商売で、小国の発展・新しい一歩を見ながら育ち、今は建具店の2代目です。家業はともかく趣味も数多く、小国無線クラブ・小国剣友会・新しいオーディオなどなど。  
いままでは、世の中のむづかしい面は避けていましたがこれからは、一つでもよいから、ゆとりがなくても、長い目で社会をみつめて自分の視野をワイドにしたい。  
なお、小国無線クラブの入会希望者は、☎2237へどうぞ。



池原 厚子 (押 切)

## 80年代に向って

今、時代は80年代へと歩み出しました。この着実とも言えぬが、緩やかな歩みのもとで発展を続ける社会の中、自然環境に恵まれたこの小国町の在住者の一人として、生活の場を此に持ち、今年で24年を迎えようとしている私です。  
時代を生き、時代を育む一個の人間として、確かな生への実感と喜びを得、そして、自己を確立することを目的として生きてきて、今年私も「年女」という、意味深き響きを持つ言葉で呼ばれる年齢になりました。何かラッキーな事が・・・と少々甘んじた空事に期待するよりも、未来の自分への足掛りとなるきっかけを確実に作ってみたい。それはたぶん、私にとって、現実社会で享受してきた事を今度は自分自身の主張として、外界へ向ける事によってこそ見つけ出せるのではないかと考えています。そして毎年常にそうであるように、人間性向上への自己の改革と確かな生活の基盤を築く為の努力の積み重ねこれが、今年の私の抱負です。  
「常に向上の精神を忘れず、前向きな姿勢で80年代を歩み出して行きたいと思っています。」

## 友達を大切に

早いもので、私が高校を卒業してから5度目の正月を迎えました。思えば昨年1年もあつという間に過ぎたような気がします。  
私は、高校を卒業してすぐに家業について関係で、仕事にもすぐなれ、最初は同級生も、友達も少なく退屈な毎日でした。ある人の勧めでスポーツサークル(排球)の一員に加えてもらい、それからは新しい友達も増え、それによって退屈さからも解放され、また同時に、人とのつきあいの大切さを知らされました。これからも友達はいつまでも大切にしていきたいと思っています。また、何に対しても、どんな小さな事に対しても一生懸命と取り組んでいきたいと思っています。今年もたくさんの人と知り合いになれたらと思います。



北原 雄一 (太郎丸)

# グループ紹介

## 息の長い活動を!

### — 翠硯書道学林 —

老人の生きがい対策事業として計画され発足した書道教室も、早いもので足かけ4年になりました。その間、社教職員の方々、高橋先生の暖かいご指導のもとに、いまでは、月2回の集いが待ちどおしいくらいです。

その後、教室の名も、翠硯書道学林とし、集いの日は、10日と25日、勉強は1回2時間と決めて一応体裁は整いましたが、中味は老人だけの集りです。時には雑談の花を咲かせて、先生も苦笑の場がしばしばでした。

しかし、回を重ねる毎に真剣味を増し、産業文化祭に出品する頃は特に熱がはります。今まで3回文化祭に出品しましたが、上達著しい者には、賞状と賞品の授与があるのでこれが、精進の原動力となっているのは確かです。

さて、昨年を顧みて、新しい年は次の事を是非とも実行したいと考えています。

- ①自然減少する学友の充足 ②学友と一泊位の親睦旅行
- ③年齢と健康状態に差があるので無理をしないで息の長い学林である様考えたい。



## 和を大切に仲間をふやしたい

### — 社交ダンスグループ木曜会 —

スロー・スロー・クイック・クイック・・・もって背中を伸ばして、下を見ないで!

叱声に汗ばみながら懸命にステップを踏む、外は寒気で凍りついているのにみんな火照った顔をして真剣である。「社交ダンスをきちんと覚えたい」と、中年の仲間10数名で始めたこのグループ、最初の練習日にちなみ木曜会と称し、月2回の例会を続けて1年になる。ダンスの経験は酒席でのチークダンスだけという男性軍、中年太りをなんとか!という女性など、それがとにかく音楽にのってステップを踏む楽しさを覚え、厳しく要求される姿勢やマナーを理解できるようになったのは、何よりもよき師に恵まれたことであつた。専任教師は、県社交ダンス教師協会のホープで、小千谷ダンス・スクールの田崎先生、副任は田崎先生の後援者横山夫妻である。最初に副任が言われたこと「ダンスというとすぐ白い眼で見られがち、それを克服するにはマナーをしっかりと守ること、メンバーには必ず夫妻のペアを入れること」であつた。わがメンバーには、熱心な2組の夫妻を軸にゆかいな仲間だけである。みんなの和を大切に、本年中に2~3種目位は完全にマスターすること、仲間を増やしたいことが今年の願望である。



## 健康な身体づくりをめざして

### — 卓友クラブ —

歳月の流れは誠に早く、7人で始めた卓友クラブも、今年で10年目になりました。現在女性1人を含む17名の会員は、楽しみながら運動不足を解消しようとする者、各種大会を目指す者など、目的は様々ですが、明るく和やかに活動しています。これまで、理研(柏崎)・エドヤ(十日町)・越路町卓球クラブなどと幅広く交流を持ってきました。昨年の対外試合では、出雲崎大会に9名参加し40歳以上の部で三浦(上越工業)さんが優勝しました。また、高橋正智(小国中出身)君が全国大会の県代表に選ばれました。また、卓球を通して幅広い仲間と親しく交流できたこともクラブの意義と発展にとって素晴らしいことでした。現在、土曜日に中学生、月曜日は少年卓球教室を行っています。町において最近スポーツ人口が増えていることは、大変喜ばしいことです。明るい町づくりは、健康な体から……… 全町民がスポーツに参加できるようになるまで、私たち卓友クラブも微力を尽したいと思ひます。卓球を愛好する者は気軽に参加ください。

## 「小国風物詩」を一冊の本に

### — 小国町俳句作家連盟 —



富沢 隆 霧 (橋 沢) =17字の小さい俳句を通じてはのほのとした人間関係をつくりあげてゆこう。= こんな願いをこめて発足した俳句作家連盟は、たゆみなく歩みつづけて10年の歳月を迎えようとしています。

この間会員も増えて80余名、そして私どものささやかな文化活動が、老人クラブの生きがい対策のかけ橋となつて、俳句の仲間が沢山になり、その成果を嬉しく思っているこの頃です。本年も又、新年句会を始め、月例句会、そして7月の文化的行事としてすっかり定着した町民俳句大会は、9回目を数えることになりす。

好評の県内の名所史蹟巡りの吟行会も数々の名作を生み、今年度は浦原平野の新発田城跡と瓢湖などを予定しています。本年度に是非実現したい企画としては、小国の風物・風土性を強調した、いわゆる「小国風物詩」というようなものを作品募集して一冊にまとめ、小国の歴史のひとつとして永遠に残したいと思っております。

「文は人なり」高山樗牛の言葉であるが、やはり俳句も人なりの表現は決して間違いないと思うし、かような意味で人間の絆を大切にする、心のふれ合う俳句づくりの場を更に大きく広げてゆきたい所存であります。



# 昭和55年 町功労表彰者きまる

町では、表彰条例により長年にわたって、町のために尽くされた方々に対して町功労者として表彰し、その功績をたたえることにしています。

本年は、3回目としてこのたび表彰審査委員会において慎重に検討し、地方自治功労者7名、産業振興功労者2名、善行功労者1名、合計10名の方を表彰することに決まりました。

表彰式は1月3日中央公民館で開かれる新年名刺交換会の席上行われます。

## — 功 労 表 彰 —

### 〔地方自治〕

- 北原 末吉 (原) 選挙管理委員
- 倉地源之助 (押切) 選挙管理委員
- 青柳 チエ (新町) 教育委員
- 五十嵐熊一 (相野原) 消防
- 池原 辰一 (押切) 総代
- 安沢 勇 (八王子) 町職員
- 内山 富 (武石) 町職員

### 〔産業〕

- 山岸 定治 (千谷沢) 商工会役員
- 角山 栄蔵 (上栗) 商工会役員

## — 善 行 表 彰 —

- (株) 研精舎・社長・水谷博司
- 町にVTR器材一式寄贈

# 保育園児募集 — 在園している園児も申請を —

昭和55年度小国町保育園児を、次の要領により募集いたします。

入園希望の保護者は、所定の用紙で保育園あて申請してください。

### 1. 募集人員及び区域

- やまなみ保育園 80名  
(山野田・大貝・三桶・苔野島原・森光・小栗山・諏訪井・太郎丸・小国沢・上岩田)
- 中央保育園 90名  
(法末・橋沢・新町・相野原・二本柳・上谷内・法坂・猿橋金沢・八王子・芝ノ又)
- 若草保育園 120名  
(桐沢・箕輪・上村・下村・武石・押切・七日町・上栗・原小屋・千谷沢・鷺之島)

### 2. 申請方法

- ※申請用紙は、各保育園に備えてあります。必要事項を正確に記入し提出してください。
- ※現在保育園に在園している児童についても、引き続き4月より入園希望の方は新たに申請してください。なお在園児についての申請用紙は、園児を通じて家庭にお届けします。
- ※新入園児については、保育園まで用紙を受け取りに来てください。申請書の記入方法について詳しく説明い

たします。

※申請書裏面の入園基準に該当しない場合は、前もってご相談ください。

### 3. 申請期日・締切日

昭和55年1月7日より1月19日まで 各保育園あて

### 4. 保育料

保育料は、各家庭の前年の所得や固定資産の課税額をそれぞれの階層に区分し、各個人の保育料が決定されます。

### 5. 入園措置決定

入園の申請を受けた幼児については、審査のうえ2月中旬までに保護者あて連絡いたします。

### 6. 通園方法

保育園での送迎は、原則として行いません。保護者の責任において実施してください。ただし、遠距離通園の場合は町のマイクロバスを利用できますが、各部落の集合場所までの送迎は、保護者において実施していただきます。

### 7. 入園打合せ

入園決定の通知を受けた幼児については、2月下旬に入園保護者打合会を計画しております。詳細については、その時にお話し合ってください。

◎ 以上について、不明な点は保育園にお問合せください。



中央保育園 クリスマス

